

快適で魅力のあるまちを めざして【都市基盤】

都市計画道路新狭山駅南口線は、22年度中の完全開通に向けて取り組みます。なお、都市計画道路整備計画に基づき、次期整備路線に位置づけられた4路線のうち、狭山市駅上諏訪線の延伸と笹井柏原線の一部整備に取り組みます。

東京狭山線は、早期の全線開通に向けて、積極的に働きかけます。

狭山市駅西口周辺地区整備事業は、駅の持つ力を、にぎわいの創出に結びつけられるよう、23年度末の完成に向けて取り組み、新都市機能ゾーン整備事業は、中央図書館南側の新都市線の交差点改良や区画道路の工事を進めます。

狭山市駅東口土地区画整理事業は、早期の完成を目指して、幹線道路と区画道路の整備を進めます。

入首駅東口地区整備は、22年度早期の都市計画決定を目指して、権利者などへの事業の理解を深める取り組みを継続し、実施計画の策定や廃校となる入間小学校の解体工事の設計を実施します。

上広瀬土地区画整理事業は、換地処分が終了したことから、清算金の交付などを進め、22年度中に事業を完了します。

水道事業は、安全・安心な水の持続的な供給のため、施設の適切な維持管理と配給水管の整備や改良などとともに、経営基盤の安定に努めます。

公共下水道は、汚水対策として市街地調整区域の整備を進めるとともに、雨水対策として鶴ノ木洪水対策事業などに取り組みます。また、23年度からの地方公営企業法の適用に向け、準備を進めます。



狭山市駅西口地区が3月25日にまち開き。記念イベントは、多くの人でにぎわいました。

活力のある産業を育てるまちを めざして【産業経済】

産業の振興では、奨励金による優遇制度を通じて、企業立地の促進に努めるほか、既存企業の設備投資の促進を図ります。また、産業労働センターで、市内企業や製造

品を広く紹介し、企業間連携や販路拡大の支援とともに、企業活動の市民への周知に取り組みます。

商業の活性化では、商店街の活動促進や店舗リフォームに対する補助の拡充などに取り組みます。

雇用対策では、離職者支援や若年者職業相談などの機能を産業労働センターに集約し、就労支援セミナーや企業情報の提供を通じて、地元雇用の底上げを図ります。

農業の活性化では、農業経営の近代化や認定農業者制度などを通じて、新規就農者や農業の担い手の確保・育成とともに、安全・安心な生鮮野菜の生産に向けて、特別栽培農産物認証制度や有機農業の普及を推進します。また、JAいるま野の狭山げんき村構想を支援していきます。



産業振興、就労支援など幅広い活動が期待される狭山市産業労働センター（狭山市駅西口）

人を育み文化を創造するまちを めざして【教育文化】

生涯学習や社会教育の推進では、公民館事業の現代的課題などへの取り組みを強化するため、公民館事業担当を配置します。また、生涯学習推進の基本となる第4次生涯学習基本計画を策定します。

（仮称）狭山元気大学は、23年度の開校の準備とともに、一部の講座を試行実施します。また、キャンパスとなる狭山台北小学校の跡利用に向けて、改修工事の設計などを実施します。

学校教育では、小・中連携教育の拡大や、道徳教育の充実に取り組み豊かな心や規範意識を身につけた児童・生徒を育成します。また、読む力の習得のため、家庭読書の日を設定します。

教育振興基本計画は、国や県の計画を踏まえ、地域の実情にも沿って策定を進めます。

学校教育施設の充実では、校舎の耐震補強工事のほか、体育館の耐震設計にも着手します。

入首地区の学校統廃合は、23年4月を目前に、入間小学校の統廃合に取り組み、さらには、中学校の統廃合、また、幼稚園も、担当課長を配置し、統廃合に取り組みます。

重点事業と予算

< 環境共生 >

自然エネルギー活用促進事業……………200万円
 次世代自動車購入補助事業……………1,000万円
 快適環境づくり対策事業……………1,411万2千円
 不法投棄防止対策事業……………464万6千円
 第二環境センター設備改修事業…1億8,299万7千円
 平地林公有地化事業……………3,430万円

< 健康福祉 >

障害者相談支援事業……………2,941万2千円
 障害者就労支援事業……………1,343万円
 こども医療費支給事業……………3億5,026万9千円
 母子家庭高等技能訓練促進事業…2,744万7千円
 子ども手当支給事業……………25億3,747万円
 民間保育所施設整備事業……………9,211万8千円
 認定こども園施設整備事業……………9,211万8千円
 小児科救急医療体制整備事業……………1,490万7千円
 妊婦一般健康診査事業……………1億961万5千円
 学童保育室整備事業……………6,515万9千円

< 都市基盤 >

一般市道整備事業……………2億5,962万円
 いっ水対策事業……………624万円
 公園用地取得事業……………9,272万3千円
 狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業…3億6,177万1千円
 新都市機能ゾーン整備事業……………2,420万円
 狭山市駅橋上駅舎・東西自由通路整備事業…5億4,745万円
 入曽駅東口地区市街地開発事業……………5,003万1千円
 狭山市駅上諏訪線整備事業……………5,800万円
 笹井柏原線整備事業……………6,447万2千円

< 産業経済 >

離職者住宅手当支給事業……………3,353万4千円
 離職者支援スーパーアドバイザー事業…343万8千円
 中心市街地活性化推進事業……………690万円

< 教育文化 >

(仮称) 狭山元気大学開設事業……………322万7千円
 狭山台北小学校跡利用施設整備事業…3,003万6千円
 教育振興基本計画策定事業……………280万円
 小・中学校連携教育推進モデル事業……………90万円
 小中学校校舎等改修事業……………6,878万円
 小中学校校舎等耐震補強事業……………8億1,380万円
 小学校校舎空調設備改修事業…1億9,200万4千円
 生涯学習基本計画策定事業……………200万円

< 市民生活 >

複合公益施設情報システム構築事業…1,180万円
 男女共同参画プラン策定事業……………50万円
 電子申告システム導入事業……………2,500万7千円
 消防機械施設整備事業……………3,500万円
 公共施設耐震改修事業……………4,590万6千円

< 計画の推進 >

財務会計システム更新事業……………1億3,591万2千円
 総合振興計画・後期基本計画策定事業…800万円

安全で生活しやすいまちを
めざして【市民生活】

人権尊重意識の高揚では、講演会や研修会など、さまざまな機会をとらえて啓発活動を実施するとともに、人権教育に積極的に取り組みます。

コミュニケーション活動の促進では、市民主体の地域の伝統や文化を生かした活動、地域課題に対応した取り組みを積極的に支援します。広報・広聴活動では、ホームページ作成システムを更新し、利便性向上と、情報発信の充実を図ります。また、狭山市駅西口地区の公益施設の開設に合わせ、行政情報だ

けでなく、民間情報も含めた地域ポータルサイトの構築を進めます。防災体制は、職員の初動体制の充実、関係機関や自主防災組織との連携強化、各種団体との応援協力体制の充実に努めます。また、学校以外の公共建築物の耐震診断や耐震設計とともに、民間住宅などの耐震改修の促進を図ります。

消防・救急体制の充実では、高規格救急自動車などの更新や災害対応特殊資機材の整備とともに、救急救命士の育成、市民への救急救護の知識と技能の普及を図ります。また、住宅用火災警報器の普及や高齢者住宅に対する防火指導、危険物施設などの安全確保の徹底を図ります。さらに、県消防広域化

計画の推進のために

推進計画に基づき、所沢市などと、広域化に向けた検討を進めます。消防団の組織体制は、地域社会の変化などを踏まえ、より効率的なものに見直しを進めます。

総合振興計画中期基本計画の期間が、22年度で終了することから、これまで実施した市民意識調査や市民会議、ふれあい市民懇話会などから得た市民の意向を踏まえ、具体的な計画の策定を行います。行財政運営では、市税などの徴収率向上や国・県補助金の確保とともに、事務事業を見直します。

情報システムの効率的な運用では、策定中の情報化基本計画により推進を図り、財務会計システムの更新にも取り組みます。行財政改革の推進では、行財政集中改革プランの期間が22年度で終了することから、新たなプランの策定とともに、定員適正化計画を策定します。

税収の減少が顕著な中、事業の選択と集中により、身の丈にあった行財政運営に心がけるとともに、「新しい公共」の考え方に沿って、市民と協働し、力を合わせて、元気な狭山の実現に向け、引き続き全力で取り組んでいきますので、一層のご理解とご協力をお願いします。